

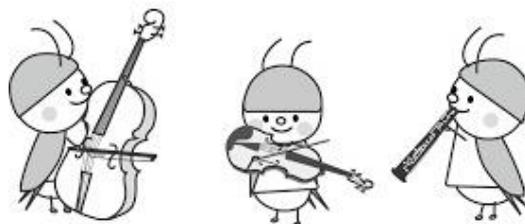
パンジー通信

ホームページ <http://www.pansy-nara.net/>

「パンジー」はLD及びADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児（者）の親の会です

パンジー通信四十七号 目次

- ・全国LD親の会 近畿ブロック会議報告 H29/7/9..... 2～3
- ・運営部 全国LD親の会公開フォーラム報告 4～5
- ・小中学部 夏のレクレーションカラオケ報告 5
- ・運営部 であ～協議会および
奈良県発達障害者支援体制整備検討委員会 報告..... 6～7
- ・パンジーの会総会・講演会 ファイナンシャルプランナー
子どもの金銭教育『上手なお金の使い方』..... 8～10
- ・アド部 各部いっしょにランチ会 11
- ・土曜会青年部
夏のキャンプ 2017. 8. 12 12～14
- ・パンジー各部活動報告
運営部・小中学部・アド部(高卒相当以上)・ピアカン、土曜会各部
..... 15～16



皆さま、こんにちは。パンジー代表の入船です。
 今年は、奈良で全国障害者芸術・文化祭が初めて開催されています。
 9月2日のオープニングの開会式に招待されて、東大寺大仏殿に行ってきました。
 この文化祭は、国民文化祭と共催されていまして、同時開催も今回が初めてのことだそうです。
 皇太子ならびに妃殿下も参加され、華やかなイベントでした。
 国体が72回を数えますが、国民文化祭は32回、障害者芸術・文化祭はまだ17回です。
 11月までありますので、奈良各地で大いに盛り上がりたてたいものです。
 11月19日の全体交流会では「兄弟支援」をテーマに兵庫教育大学の島崎まゆみ先生をお呼びしております。
 皆様のご参加を宜しく願います。
 今年度も、皆さまと一緒にパンジーの会を前進させていきましょう。

近畿ブロック会議報告

○日時:7月9日(日)13:25~16:45 場所:神戸市青少年会館 当番会:あおぞら

☆出席:正会員=明日葉、おたふく会、たつの子、翼、トムソーヤ、パンジー、sky…スカイプでの参加
理事長(井上)、評議員(小倉、齊藤) 出席者 21人(うちスカイプでの参加3名)

★欠席:はあとりんく、ほっふ、らっきょうの花

【議題】

I. 第24回NPO法人全国LD親の会評議員会報告

1. 組織運営に関する審議

①第10回総会=6月17日(土)実施

②第11回総会=日時:2018年6月23日(土) 場所:愛知県産業労働センターウインクあいち

第17回公開フォーラム 日時:6月24日(日) 場所:同上

③2017年度会員状況=会員数:2,794名

退会:(2会)鹿児島県発達障害児親の会「てんがらもん」、京都LD等発達障害親の会「たんぼぼ」

入会:(1会)かごしま発達支援ネットワークtetoteto(てとてと)

④理事長・副理事長選任⇒理事長:井上育世、副理事長:多久島睦美

⑤2017年度構成調査について

2. 事業実施に関する審議

(1)LD等の発達障害に関する研究事業

①一般社団法人日本LD学会第26回大会=日時:2017年10月7-9日(土・日・祝)

場所:栃木県総合文化センター 担当会:ゆずりは

親の会企画シンポジウム実施予定(発達障害者の教育から就業への移行における課題~会員調査の結果より~)

②今後の研究事業

(2)LD等の発達障害に関する理解啓発事業

①会報「かみはし」84号 9月下旬発行予定

②第16回公開フォーラム 6月18日(日)実施 297名参加

③第17回公開フォーラム テーマ:発達障害者の教育から就業への移行について

④特別支援教育支援員養成事業

・2017年度特別支援教育支援員養成講座

共催:大阪LD親の会おたふく会

日時:8月27日~11月23日(8日間) 場所:ドーンセンター、エルおおさか

・長崎ボランティア支援員養成講座

主催:長崎発達支援親の会「のこのこ」

共催:NPO法人全国LD親の会

日時:7月22・23日(土日) 場所:諫早市社会福祉会館

⑤発達障害児のためのサポートツール事業

- ・サポートツール全国キャラバン 2016「教材教具研修会」in 鳥取
共催: 困り感を抱える子を支援する親の会/らっきょうの花
日時: 2月19日(日)実施
場所: 鳥取ふれあい会館 91名参加

⑥講演依頼により講師派遣(2件)

⑦理解啓発冊子販売事業(収益事業)「教育から就業への移行実態報告書IV」発行予定:10月初旬

(3)LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業

①2017年度研修会 日時:6月17日(土)

- 場所:神戸市勤労会館 テーマ:教育から就業への移行調査IV結果報告
58名参加

③2017年度 青年の交流会「カワサキワールドと南京町散策」 日時:6月17日(土) 担当会:たつの子
27名参加 うち懇親会参加25名 スタッフ4名

(4)LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた活動事業

- ①平成30年度予算要望
- ②平成28年度特別支援教育ネットワーク推進委員会(第14回)
- ③DDnet関連
- ④日本障害者協議会 ⑤全国特別支援教育推進連盟

II. 2017年度近畿ブロック研修会

- 日時:11月12日(日)午後 場所:ドーンセンター大会議室 講師:鹿野 佐代子先生
テーマ:障害のある人が親亡き後も元気で自立した生活を送るためのお話、親の準備や心がけについて

III. 近畿ブロック体制について

- ・近畿ブロックの全国評議員・会計・会議当番会・2018年度青年つどいの会担当会の確認
- ・2016年度会計報告
- ・2017年度予算案

IV. その他

- ・講演会等での配慮の必要な人への対応について
- ・各会の活動報告
- ・次回近畿ブロック会議の日程・当番会について



運営部

全国LD親の会 総会&公開フォーラム報告

6月18日(日)に神戸市勤労会館 大ホールで開催された全国LD親の会 公開フォーラムに参加しました。

* 行政解説

- ・文科省 中等教育局 特別支援教育課 課長：丸山 洋司 氏

「特別支援教育行政の現状と課題」

- 校内支援体制の整備
- 教員の専門性の向上・指導体制の充実
- 高等学校段階における特別支援教育の推進
- 次期学習指導要領に向けた対応
- 障害者権利条約・障害者差別解消法への対応
- 特別支援学校の教室不足の解消

- ・厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課 地域就労支援室 室長：田中 歩 氏

「発達障害のある方に対する就労支援策」

- 障害者雇用の現状について→職業紹介状況はこの10年で12%から42.6%に増加
- 発達障害のある方に対する就労支援策について
 - 小集団方式による支援事業、しごとサポーターの養成、障害者トライアル雇用、
 - ジョブコーチによる支援、障害者雇用安定助成金、障害者就労・生活支援センター
- 改正障害者雇用促進法について ○雇用分野における障害者差別禁止・合理的配慮の提供義務について

* パネルディスカッション 「発達障害者の就労に必要なこと」

モデレーター：梅永雄二 氏(早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授)

話題提供1 東条裕志 氏(NPO 全国LD親の会)

「教育から就労への移行 18歳以上の人のアンケート集計結果(速報)」

話題提供2 谷岡善裕 氏(兵庫労働局 地方障害者雇用担当官) 「発達障害の支援に必要なこと」

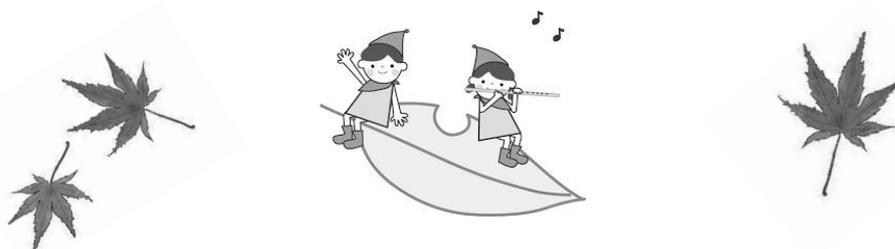
話題提供3 濱田 和秀 氏(NPO クロスジョブ)

「発達障害のある方の就労に必要なこと 就労移行支援サービスの取り組みからの考察」

話題提供4 大本正巳(UCCグループ特例子会社 日本パーソナルセンター 常務取締役)

「発達障害者の就労に必要なこと 企業における合理的配慮について」

- ・採用の基準として職業適性・・・仕事をする力×技能×資格×経験
- ・アサーション・・・相手を否定しないで、自分の意見を言う
- ・『自分は御社のこの仕事がしたいと思っています。が、こんなことが不安に感じています。こういうことが苦手なので、こういう風にしてもらえると頑張れます。』など説明できる。



【参加者感想】

○フォーラム参加者

息子の就職もそろそろ検討時期のため、参加させていただきました。

まず、働くためには健康管理（働くための体力、定時出勤・通勤、服薬管理ができる）や、日常生活を管理する力（決まった時間での起床・就寝・食事や、身だしなみなみ・挨拶・言葉遣い、意識表示、金銭管理ができる）など、小さいころからの積み重ねが大切なことなんだと、改めて感じました。また、就職すればいいということではなく、離職せずそこで職業生活を続けていく力（定時出勤・欠勤の連絡、ビジネスマナー）も重要なことだと感じました。

そのためにも、本人が自分の特性を十分理解し、会社に対して自分でサポートブックやナビゲーションブック、あるいは『自分の取説』を作って説明する努力も必要だと感じました。

○総会および研修会参加者

フォーラム前日の総会および研修会に参加しました。東条裕志さんによる「教育から就労への移行 18歳以上の人のアンケート集計結果(速報)」では、いかに就労が困難であるか、また、自分が何にどういったことで困っているか、どう改善してほしいかを伝える力の弱さをいかに伸ばしていくか、など、いろいろと考えさせられました。

また、結婚をしたい、というごくごく自然な思いを、安定した収入が確保出来ない、またコミュニケーション力の乏しさゆえ、なかなか叶えられないでいる現状も見えました。

課題は山積しているなか、まずは、我が子との会話を今以上に増やし、会話力、対話力を上げていくことから始めようと思います。



ここでちょこっと 小中学部 夏のレクレーション報告♪



7月8日（土）「カラオケバンバン榎原店」で3時間、大人6人・子ども11人が参加しカラオケを楽しみました。

初めから積極的に歌う子もいれば、恥ずかしがって 歌いにくそうにする子、歌いたいけど選曲に迷う子もいましたが、順番を決めてスタートすると歌っている子を周りが盛り上げたり、一緒に合唱したりして自分の出番以外でも楽しんでいました。昭和の名曲を歌う子もいれば、最新のヒット曲、アニメソングなどジャンルが広く、よく曲を知っているなあ〜！！と大人は大変感心して聴いていました。

3時間は長いかなあ？と心配しましたが、たくさんの予約曲を歌え切れないまま時間は、あっという間に過ぎ、子どもたちはまだまだ歌いたかったようですが、最後は『ヤングマン』を振り付きでみんなで大合唱し締めくくりました(笑)。

楽しい歌を聴けて、普段とは違う子どもたちの一面が見れて、大人も楽しめた3時間でした。

運営部

でいあー協議会および

奈良県発達障害者支援体制整備検討委員会報告

平成29年6月9日整備検討委員会

医科大学の飯田先生を中心にでいあー並びに県の障害福祉課・教育委員会・子ども家庭相談センターなど多くの機関が集まる委員会。

① でいあー

28年度 3418件の相談があった。年齢は20代が最も多く27%で20代以降が半数以上を占めている（不明が22%）樹労相談が多く、なかなか就労できない。

相談があった後どこに連携するかで、多かった場所が相談支援事業所・就労移行支援事業所など、事業所とみつにかかわっていることがわかる。

② 子ども地域支援事業

保育園・幼稚園等に作業療法士が訪問し困り感（多いのは問題行動）を抱えた子供に支援を行っている。毎年訪問に来てほしいといった依頼が多い。問題行動があってもどこにもつながっていない場合が半数以上あり、最近の傾向として、保護者対応を教えてほしいといった内容が増えている。市町村の療育支援事業になかなかつながらない。

③ 奈良県発達障害者就労支援について

職場定着に向けた職場環境整備の支援をおこなっている。雇用は少しずつ整ってきている。

④ 奈良県福祉課 県施策について

障がい者計画の見直しについて

地域に児童発達支援センターを7か所設置。

～質疑応答～

○ディアーの人員について・・・12年前と予算ならびに人員は全く変わらない。

○放課後デイ・就労移行事業所等の内容について・・・異業種からの参入が多く、質の担保ができておらず、定期的に精査・審査を行っており、今後は県の自立支援協議会と一緒に各事業所の訪問を行っていく予定。

○特別支援教育の充実についての予算はどうなっているの？・・・インクルーシブ教育システム推進事業内の就労支援コーディネータとして2名を高等養護学校に設置（文部科学省）。

○学校でなかなかタブレット等使えず、評価が下がりがち・・・地域でのインクルーシブを図る研修を行っている。タブレットについては、まだまだ理解が進んでいない。

○就労支援事業がたくさんありすぎて、最初にどこに行けばよいかわからない。

○困ってから相談するのではなく、もっと地域活動の充実や引きこもりになる前にサポートできる方法を考えてほしい。

平成29年6月20日連絡協議会 (主催でいあ～)

でいあ～からの情報提供ならびに実施内容の報告等

① でいあ～の報告 (整備検討委員会と同様)

② 発達障害支援の現場から

○子ども若者支援から 天理市教育総合センター

夢てんり：ニート・引きこもりや・高校・大学中退から社会に出るきっかけづくりに開催。

毎週火曜日のみ 15～39歳まで

サポステ大和：ボーダーの割合が増えてきている (手帳がない) →臨床心理士→手帳取得へ

手帳をとっても就労 (働く) ことが難しい。→年金をもらって生活をしていく人が増えている

○生活支援相談窓口 天理市教育総合センター

ケース：生活困窮の方がやってくる。・生活保護は受けたくない (車・持ち家・貯金等の関係で)

税金滞納→保険証が無い→1000円支払い短期で保険証 (短期で入院)

→生活困窮窓口へ家賃滞納・借金などで相談がくる

★何でもつまづいているのか、本人がなかなか自分で気が付かない。→サポートを行う

○大学生活から (学生生活と就職の支援)：奈良学園大学 (旧 奈良産業大学)

・学生支援：学生支援センターが設置されており相談を受けている、心理健康相談室として臨床心理士が週2回

発達障害については個別の対応：担任制なので担任が対応している (今後チームで対応できたら)

・就労支援：キャリアセンターにて障がい者就労対応

ケース：手帳を持っている、特定子会社へ就労の希望→大学担当者と見学→実習 (大学からの推奨状) 2週間×5回実習 (2回程度だと不採用) →最終面談があった。(無事入社できた)

保護者から申し出があり、就労に向かった

なかなか採用に至らず、本人と相談→手帳を取得→ハローワーク→就労に至らない

★各大学でも就労指導に勉強会がある。→発達障害の就労について事例検討されている。

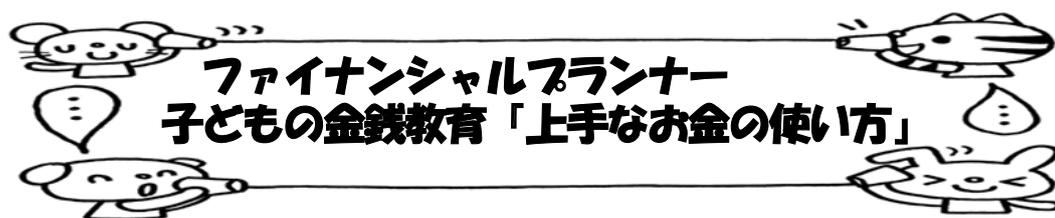
～質疑応答～

○高校から大学へ行く場合いつ頃大学に発達障害を伝えるべきか・・・入学には試験があるので、学生支援センターは入学後しか対応できない。

○インクルーシブ教育について、早期発見は進んできているがどんどん障がい者を特別支援等で区別している・・・小学校は地域で生活するよう進めている。また、高校は分教室とともに学んでいる。

○一人で作業所に通っている、一度迷っていたら警察に通報されて警察に。地域社会で生きにくい。





5月21日あすなら苑にて、パンジーの会総会終了後、ファイナンシャルプランナーKさんによる子どもの金銭教育「上手なお金の使い方」を、資料をもとにお話しいただきました。Kさんは当会の会員で、発達障害のある子をお持ちです。ご自身の子育てを振り返りながら、とても詳しく丁寧に話しいただきました。以下、Kさんの講演をまとめました。

子どもに、お金はどこからきているのか、お金の流れを話すことはとても大切、銀行や税金など、お金の流れを知ることで、自分のお金を知ることができます。

お金に興味がなく使わない、また渡したらすぐ使ってしまうなど、発達障害をもつ子にはちょうどいいところ合いがないことが多いです。

お金も人生にとって楽しみのひとつ。またお金が無い体験も大事。限りがあることを伝え、子どものころから失敗経験をさせ、体験後の対処の仕方が非常に大事になってきます。泣いたから渡す、のではなく、我慢をさせることも大切です。また買った喜びを感じることも大切です。

家の手伝いをし労働の対価として渡すことは、手伝いは就労、自立にも大切です。また、手伝いは本人の特性が非常によく見えてきますので、お勧めです。

さて、お小遣いの使い方ですが、まずは、親子で十分話し合うことが大切です。話し合いは、本人が納得しないとダメです。買い物の予定表を作り、買いたいものを書き、それは必要か？それともほしいものなのか？を書きでします。売っているお店を書いたり、優先順位を決め貯めてから買う、やっぱり今は買わないなど、考え、そして行動に移していくようにし、衝動買いをすると後悔をするということを小さいころから積み重ねていくことが重要です。

・見えないお金について

カードは今、生活になくてはならないものになっています。カード払いは見えないお金。親のカードを使い際限なく使いこんだり、カード破産をする人もいます。

[カードの種類] クレジットカード→後払い

キャッシュカード→銀行などで口座からお金を引き出す

電子マネー・・・チャージ

まずはカードを使ってみるところから始めてみましょう。ICOCAなどチャージをして電車にのり、祖母の家などに行く、それを親は見守るなど、わからないなりに、少しずつ理解できていきます。

・お金の使い方5カ条

我慢しているうちにほしくなくなることもある

スマホのアプリで管理できる時代

貸し借りはお金だけでなく、カードも貸さないことが大事

レシートは捨てない。不良品交換等必要



なかなかお金について子どもと話し合うことは少ないと思います。しかし、とても大切なことです。配布しました資料を見ながら、ぜひ話し合い、すすめていってほしいと思います。子ども自身が限られたお金でやりくりをする、また成長し大人になっていくとともにカード支払いも管理できるようになっていってほしいです。ぜひ無理強いはせず、できることから始めていってください。

講演の後、会員からの質問にお答えいただきました。

○中学三年生女子の母

ネットで無断で電子書籍を購入しカード引き落としになっていた。

お金がかかることはわかっているようだが、深く理解はできていないようで、どこまでおこつたらいいのかわからない。どんどん本人ができることが増えてはいるが、理解はできていない。

～Kさんより～

クレジットも今は簡単に作れるし、審査も簡単で、何枚も作ってお金を借り、弁護士さん入っているケースもある。また、友だちから買って、と言われお金は手元のなく、カードで購入し借金、また転売されるケースもある。

ネット購入やカード払いの怖さを知らせていくことが大事です。

実際目の前で見えないけれど、お金が動いていくことを伝え続けてください。

また、子どもとルールを作ることも大事です。思春期は隠し事をしたり、お金を盗むという行為にでることもあります。親に相談する、ということが大事です。

ネット販売はアマゾンカードなど範囲内で購入したりする方法もあります。

母は腹が立つこともありますが、きつく言わず、話し合うことが大切です。

○小学生の母

親が亡きあと、子どもが信頼してお金の相談ができる機関などはありますか？

後見人+兄弟、など、二人以上の人をお願いすることがお勧めです。息子にお金を残してやっても、使い方や管理の仕方が不安。

～kさんより～

お金の管理の仕方を本人ができるよう、今からそれを考えて生活をしていくことが大切です。

後見人+兄弟、など、二人以上の人をお願いすることがお勧めです。

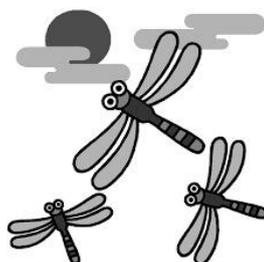
子ども名義では残さないようにきをつけてください。さまざまな福祉サービスを受けられない場合があります。

しかし、制度は変わっていきます。今後、どのようになってしまうかは不透明です。

なにより、本人にお金について理解をさせていくことが大切であると思います。

講演会の後半、ご自身の今までの子育てについてもお話しいただきました。とても参考になる体験談でした。

このたび、kさんは親子で話し合い、この会をご卒業されることとなりました。長きにわたり当会の活動を中心となり運営していただき、また今回、わかりやすい資料を作成し講演までしていただき、本当にありがとうございました。今後もぜひ、ご協力を（厚かましいお願いですが）よろしく願いいたします。



～地区別懇談会～

講演会のあと、地区を二つに分け、さまざまな年代層の会員同士で懇談会を行いました。ここでしか相談できない子育ての悩みは、多数あり、話しは尽きませんでした。

○中三女子母

学校では友だちと一言もしゃべらず、本読んで過ごしています。三年になり、なんとか担任とは話すようになっていますが、しゃべりたいけどしゃべれないようです。勉強のほうは取り出し国語数学、教科書にそわず、基礎の部分を重点的にしていただいています。進路について悩んでいます。

また、お金の問題についても悩んでいます。一人でお金を母の財布からとってUSJに行ってみたかと思うと、就学旅行のおみやげはハイチューふたつだけ。

また、郡山イオンに行き、帰りに榎原神宮や西大寺を電車で行き来。どうしたらよいか人に聞くことができない。友だちにも言えない。どうしたの?と聞かれたら言えるが、自分から切り出せない。

○小4男子母

学校、6時間あるのがしんどいと言いながらも学校にはいつている。塾いかないとあかん、宿題もある、風呂も行きたいゲームもしたい・・・とスケジュールに追われ機嫌悪いからできることもできない。今後、まじめな性格、どうなっていくか。

○25歳息子の母

一般就労で法人携帯の営業職の仕事で働き始めた。就職後、上司に発達障害であることを打ち明けている。働き始めたばかりで今はまだノルマはないが、これからが心配。

○中学1年男子母

昨年からフリースクールに通っている息子は、4月に地元の中学校に入学してから、本人の「通いたい」という強い思いもあり、頑張って中学校に通っていたが、5月の連休頃から体中に蕁麻疹が出てきた。先生とも相談しながら見守っている状況である。

○小学6年生男子母

息子は季節や気温に合わせた服装が出来ない。季節やTPOに合わせた服装を教えていく必要があると感じた。

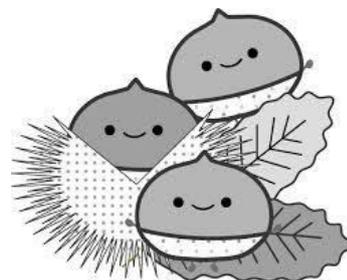
○小学4年男子母

息子は4月に進級してから、授業中机の下に潜り込んだり、ロッカーに頭を突っ込んだりするようになった。今まではなかった行動なので心配している。担任の先生と近々話す機会を持つ予定である。

さまざまな悩みに、先輩ママさんたちがアドバイスしてくださいました。たくさんある体験談をもとに、一度こうしてみよう、また、こう考えてみよう、という発見があり、とてもよい時間となりました。

今後もこのような地区を合同した懇談会などの、幅広い年代層でお話しができる機会を多く持ちたいと考えています。

お忙しい中、ご参加ありがとうございました。



アド部



6月10日(土)ランチ会をならファミリーの桃谷楼で、お昼12時から始まり、2時過ぎまで開催しました。料理は、中華料理のランチコースで、今回は、アド部5人、小学部2人、青年部2人の親御さんと、小学生や小さいお子さん2人も参加され、年代が多彩で大変賑やかでした。成人の子供を持つ親御さんが、若い奥さんがたの相談に快く、受け答えし、楽しく会食・歓談ができました。

高校生になったこどもがアルバイトをしたいと言っているが、どんな職種がいいだろう?という質問に、先輩ママさんからいろいろアドバイス。うちの子はこれから始めたよ、とか、まずはボランティア活動から始めるのもいいかも、などなど。和気あいあい、おいしい食事を囲みながら、良い景色を眺めつつ、話しはつきませんでした。



次回のアド部会は、9月27日、パンジー通信印刷終了後に、はぐくみセンターでおしゃべり会を開催予定です。

(参考事項)

昨年5月発達障害者支援法の一部改正されました、就労に関する事項は以下のとおり

就労支援については、自治体が都道府県に発達障害者支援地域協議会(仮称)を設置できることとし、関係機関の連携を促進する。また就労機会の確保や、職場での定着支援などを規定。

事業主についても、発達障害の特性に応じた雇用管理を求めている。

付帯事項として、発達障害の就労機会の確保および職場定着のためには、個々の障害の特性に配慮した良好な就労環境の構築が重要であることに鑑み、職場におけるハラスメント(嫌がらせ、いじめ)予防のための取り組みやジョブコーチ等を活用した相談・助言体制のいっそうの充実を図ること。

発達障害者が持つ障害の程度は、個人によって異なるため、就労および就学を支援する上では、主治医や産業医の産業保健スタッフおよび学校医等の学校保健スタッフの役割が重要であることに鑑み、これらの関係者が相互に連携を図りながら協力できる体制を整備するとともに、産業保健スタッフおよび学校医スタッフが受ける発達障害者の雇用や就学に関する研修について必要な検討を行うこと。

と記載されている、行政訪問の際に具体的施策について伺っていきたい。

土曜会青年部



日 時：2017. 8. 12 (土)

場 所：生駒山麓公園野外活動センター

参加人数：児童部10名 青年部4名 成人部4名 保護者19名 計37名

活動ルール

- ① 大人の力を借りないで、みんなで協力する。
- ② 小学生を支える。
- ③ 一人で行動しない。
- ④ 自分でできることは、自分でする。

タイムスケジュール

11:00	青年会は生駒駅中央改札口前に集合します
11:15-11:40	スーパーにて買い出し(青年部)
12:10	山麓公園到着
12:45	バーベキュー準備
13:25-14:30	昼食・バーベキュー
14:30-	片付け
14:50-16:20	フィールドアスレチック
16:25-17:00	お風呂(生駒山麓ふれあいセンター)
17:15-	現地解散 → 乗車

現在青年部は中学生7名で活動しています。高校生がいらないため少々さびしいのですが、高校を卒業した成人会3名が青年部のサポーターとして青年部活動に加わってくれています。

今回5、6月の第2土曜日(15:30-16:30)の青年部定例会にて、この夏のキャンプの計画や活動ルール(上記参照)を皆で決めました。ここ数年、泊を伴うキャンプをしていなかったこともあり、「青年部だけで1泊2日のキャンプをしないか?」と提案したところ、彼らは「児童部のみんなも連れていきたいので、デイキャンプにしたい。」と当たり前のように発言してくれました。土曜会の“青年部”が“児童部”と繋がろうとしている姿がうかがわれました。

11時には青年部が生駒に集合。早速スーパーへと買い出し。スーパーに入るや、野菜やソーセージはどれが良いか、焼き肉のたれは、ジュースはどれが良いか等、それぞれが意見を出し合い、どんどんカゴに入れていきました。チェックリストを見ながら短時間で買い物は完了しました。毎年の経験が活かされているのでしょうか、年々行動が速くなっていくのが感じられました。皆で協力して買ったものを袋やクーラーボックスに入れ車に積み込み、野外活動センターに直行しました。お盆の時期に入っていたため、30分ほど渋滞に引っかかってしまいましたが、そんな中でも、互いに自己紹介をし、聞きたいことを質問し合い、和やかな雰囲気が車内を包み込んでいました。

12:30に到着。会計補佐と副部長が協力して参加費を徴収。自分たちでチェックも行い、キャンプが始まった。

活動のルールを皆で確認し、火起こし班と調理班に分かれて、BBQの準備にかかりました。青年部を中心に、児童部の小4～6年生も二つに分かれて準備しました。40分ですべての準備が完了、いざ昼食。お腹がすいていたこともあり、コンロの前にはすぐに行列ができました。食べる勢いがすごくて肉・野菜を焼くのが追いつかないほどでした。そうした中でも、大人も子供もみんな楽しく過ごし、お腹いっぱい食べました。

今回はお父さんたちが4名も参加して下さり、肉を焼いたり、フィールドアスレチックの補助をしてくれたり、大活躍してくれました。感謝！感謝!!でした。

昼食後のフィールドアスレチックは結構ハードでしたが、成人部メンバーの1人は、4才の幼児の安全を見守りながらゴールを目指してくれました。(将来結婚して子どもができたなら、さぞかしこんな感じなんだろうな。)

他の成人部員は、子どもたちがフィールドアスレチックに行っている間、お母さんたちとの語らいの場に参加してくれました。自らの生い立ちや、こんな時こんな思いで過ごしてきた等、話してくれました。お母さんたちからいっぱい質問攻めにあつたようです。

16:25よりお風呂に入りました。男風呂は洗い場がいっぱいで、それでも黙って待っていました。露天風呂に行ったり、サウナに入ったりと、みんな思い思いに楽しんでいました。30分後にはお風呂が終了するので、大急ぎで身体を拭き脱衣場に行き、服を着て出てきました。(お風呂もSSTの場です)

17:00全員がロビーに集まりました。青年部部長による最後の挨拶です。事前に準備してまとめておいたメモを片手に、立派に締めくくってくれました。前年度の部長のしたことをしっかり覚えていて事前に準備してくれました。(感心！感心!!)

土曜会の活動を通して、特に今回は児童部・青年部・成人部の“絆”を強く感じました。社会自立・社会参加していくためには、友の存在は大きな力になります。その中でこれからも、対人関係や社会性・コミュニケーション力を更に深めていってほしいと願っています。

(文責；大庭譲治)



<参加者の声>

中学生男子母

少し前から1人である事を好む様になってきました。デイキャンプでもその様子が現れていた様に思いました。そういう気持ちの強い中、嫌がらず参加出来たのは良かったです。終わりのスピーチは、私が余計な先回りをしてしまった為、即興での言葉ではありませんでしたが、前日に父親とスピーチの練習をしたりしていたので良い経験にはなったのではないかと思います。当日はメモを見ながらでしたが無事スピーチを終えられたので、少しは自信に繋がっていたらいいなと思います。

中学生女子母

本人はとても楽しみにしていて、友達と一緒に読む本などを前日から準備していました。手先の不器用さがあるものの、最後までがんばり、みんなと楽しく過ごしていたようで、良かったです。私はお母さん方ともたくさんお話ができて、ストレス解消できました。

小6女子

パンジーのキャンプは初めてだったけど楽しかった。アスレチックは30個もあってビックリした。母 子どもたちで作ったバーベキュー感心しました。リラックスして親同士話げできたのも良かった。

小4男子父

原則、子どもたちだけのバーベキューの準備、展開が良かった。私たちがふるまっていたきながら、保護者同士で子どもの情報交換等ができて大変有意義だった。

小4男子父

我が子も含めて、去年よりどの子も皆の成長が見られて嬉しかった。成年部のお兄さんたちや、中学生のメンバーが去年の経験を活かして今年の成功に繋がるように努力していることがとても良かった。

小2男子母

普段、口や手を出して見守るって難しいなって思いました。私は当事者（ADHD）でもあり、息子の母でもあるのでどちらの気持ちも分かるのですが、最近母親としての気持ちをぶつけてしまうので「当事者としての自分」と「母親としての自分」で考えてみて普段の育児を見直す良いきっかけになりました。

大学3年母

バーベキュー後の親のお茶タイムでは、当事者である息子や、大学生、成人男性が、お母さんたちからの質問に答えるという、今までにないスタイルでした。親の子育てのどういうことが嫌だったか、また、今子育て真っ最中のお母さんたちに、子どもにどう向き合ってもらいたいのか、仕事上での困りごとは何か、給料はどう使っているのか、兄弟に対してどう感じているかなどの質問に、ひとつひとつ丁寧に答えてくれ、私たち親たちは、感心したり、驚いたり。この会にいるからこそその貴重な時間でした。

パンジー各部活動報告 & 今後の予定

《 運 営 部 》

活 動 報 告

- 6月 9日 奈良県発達障害者支援体制整備検討委員会 (奈良県文化会館)
- 6月17日 全国LD親の会第10回総会・研修会・懇親会 (神戸市勤労会館)
- 6月17日 全国LD親の会青年交流会 (カワサキワールド・南京町)
- 6月18日 全国LD親の会公開フォーラム (神戸市勤労会館)
- 6月20日 奈良県発達障害者支援センター であー連絡協議会 (奈良県文化会館)
- 7月 9日 近畿ブロック会議 (神戸市青少年会館)
- 7月23日 役員会議 (あすなら苑)
- 9月10日 //
- 9月27日 パンジー通信印刷発行 (はぐくみセンター)

今 後 の 予 定

- 10月 2日 奈良障害フォーラム代表者会議
- 10月 7日 一般社団法人日本LD学会第26回大会
~9日 (栃木県総合文化センター)
- 11月12日 近畿ブロック研修会 (ドーンセンター)
- 11月19日 役員会議 (あすなら苑)
- 11月19日 パンジー全体交流会 (あすなら苑)

11月19日(日)に、
兵庫教育大学 島崎まゆみ先生による講演会「兄弟支援について」を行います。
皆さんぜひご参加ください!

《 小 中 学 部 》

活 動 報 告

- 4月19日 サロン川西参加
- 5月17日 サロン川西参加
- 6月21日 サロン川西参加
- 7月 8日 カラオケ
- 7月19日 サロン川西参加
- 8月12日 青年部主催のデイキャンプへ参加

今 後 の 予 定

- 11月初旬 奈良県教育委員会訪問



《 アド部 》

活 動 報 告

- 6月10日 アド部 ランチ会(桃谷楼)

今 後 の 予 定

- 9月27日 印刷後おしゃべり会
- 9月27日 中小企業家同友会訪問
- 9月28日 奈良県労働局訪問
- 9月28日 奈良県障害福祉課、雇用政策課訪問

《 ピアカン 》

活 動 報 告

- 7月29日 YMCA保護者会 ペアレントメンター
- 8月 5日 発達障害講演会 パネルディスカッション
- 8月12日 青年部デイキャンプ

今 後 の 予 定

未 定

土曜会各部

土曜会は、特別支援教育士SVの大庭譲治先生が共に活動するソーシャルスキルトレーニング（SST）学習の場です。土曜会活動は、小学生の児童部、中学生の青年部、18歳以上の成人部の3つの部に分かれて活動しています。

児童部

活動報告

- 5月13日 土曜会活動／福祉センター
- 6月10日 土曜会活動／福祉センター
- 7月 8日 土曜会活動／福祉パーク
- 8月12日 夏のデイキャンプ

今後の予定

- 9月 9日 土曜会活動／福祉パーク
- 10月14日 土曜会活動／大和郡山市宮堂町 ミニ体育館
- 11月11日 土曜会活動／福祉パーク
- 12月 9日 土曜会活動／福祉パーク(クリスマス会)

青年部

活動報告

- 5月13日 土曜会活動／福祉センター
- 6月10日 土曜会活動／福祉センター
- 7月 8日 土曜会活動／福祉パーク
- 8月12日 夏のデイキャンプ

今後の予定

- 9月 9日 土曜会活動／福祉パーク
- 10月 8日 土曜会活動／郡山ミニ体育館
- 11月11日 土曜会活動／福祉パーク
- 11月18日 秋のイベント ポーリング・カラオケ

各活動は、随時、フェイスブックにて公開しています。今回はボランティア学生の感想も掲載しています。ぜひ、一度覗いてみてくださいね。くださいね。



成人部

活動報告

5月20日(土) 筒井駅「焼肉いちばん」M君が幹事でした。13名参加。
 あすなら苑に行く途中に店がありました。
 今回も財布にやさしい企画でした。
 やはり、みんな焼肉大好きですね。

今後の予定

11月18日(土) 開催いたします。



パンポラを募集しています!!